

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

播種性血管内凝固を合併した急性胆石性胆嚢炎に対する recombinant thrombomodulin の有用性に関する検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2017 年 1 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日に昭和医科大学藤が丘病院で胆嚢炎による播種性血管内凝固と診断された患者さん

### 2. 研究目的・方法

急性胆石性胆嚢炎に播種性血管内凝固症候群（DIC）を合併した場合、感染や炎症により血液の凝固異常が生じ、臓器障害や出血などのリスクが高くなることがあります。感染症に伴う DIC に対する recombinant thrombomodulin (rTM) の有用性は報告がありますが胆嚢炎に限定すると検討は十分ではありません。

本研究では、当院で急性胆石性胆嚢炎に伴う DIC に対して胆嚢ドレナージを受けた患者さんを対象に、rTM を使用した場合と使用しなかった場合で比較し、rTM の臨床的有用性と安全性を検討することを目的としました。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、身体所見、転帰、既往歴・併存疾患、内服歴、血液検査所見（白血球数、好中球数、好中球割合、ヘモグロビン、血小板数、プロトロンビン時間国際標準比、活性化部分トロンボプラスチン時間、フィブリノーゲン、フィブリン・フィブリノーゲン分解産物、D-dimer、アンチトロンビン活性、C 反応性蛋白、プロカルシトニン、総ビリルビン、直接ビリルビン、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、アラニンアミノトランスフェラーゼ、アルカリホスファターゼ、 $\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ、乳酸脱水素酵素、血清クレアチニン、血中尿素窒素、推算糸球体濾過量、ナトリウム、カリウム、アルブミン）、画像検査所見（CT、MRI）

### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6. 研究組織**

研究責任者      研究機関名 昭和医科大学藤が丘病院 氏名 浅見哲史

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘病院消化器内科      氏名：浅見哲史

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30      電話番号：045-967-0349